

中学部 1, 2年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和3年9月30日（木）10：30～11：20

場 所：中学部1、多目的室2

生 徒：男子4人、女子3人、計7人

指導者：佐々木克巳T1、高橋るみT2、石郷岡幸子T3

1 単元名 大好きなまち、仙北市！！～田沢湖地区を仙北市マップに掲示しよう～

2 単元の目標

- (1) 角館地区、生保内地区、西木地区の名産品、特産品、名所について知る。（知・技）
- (2) 友達と協力して、角館地区、田沢湖地区、西木地区について調べ、特徴をまとめる。（思・判・表）
- (3) 仙北市の人や文化と積極的に関わり、郷土を身近に感じる気持ちを高める（学・人）

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは1年生3名、2年生4名の計7名の複式学級である。年度当初は、友達とどのように接したらいいのか分からず、単独での行動や教師との関わりが中心となる生徒が多く見られた。だが、様々な学習を通して、中学部生らしい振る舞いや言葉遣いを身に付け、それぞれが適切な距離感で接することができるようになってきた。また、学級での自分の役割を理解し、役割を果たそうとしたり、友達と協力したりする場面が見られるようになってきている。

今までの経験に基づいた簡単な内容であれば、言語による全体のへの指示で行動できる。しかし、ワーキングメモリーの低さ、言葉の意味についての理解不足があり、誤認識が多く、自ら行動をすることができなかったり、自分なりの解釈で行動したりする場面があるため、個別の指示や視覚的な支援が必要である。

(2) 単元について

現2年生が角館地区以外に居住地がある生徒が多かったため、せんぼく校が立地する角館町を身近に感じてほしいという願いから、昨年度の生活単元学習「角館町を調べよう」が元となった単元である。今年度は、角館地区のほか、田沢湖地区、西木地区を加え、仙北市全体の観光資源を学ぶ学習として設定した。1学期は昨年度からの学習を引き継いで、実際に古城山の登山を行い、館跡や姥杉、姥桜などの天然記念物、登山道などを調べ、掲示物を作成した。

本単元は、仙北市の各地区について以下の流れで学習を行う。

- ①各地区についての名産品、特産品、名所について、インターネットや書籍、校外学習を通して調べる。
- ②各地区について調べた内容を基にして友達や教師と話し合い活動を行い、まとめる内容や調理の計画を決定する。
- ③調べ学習や既習の学習内容を生かして、教室前廊下に掲示する仙北市マップの作成や、調理を行う。

仙北市の観光資源について校外学習で実際に場所へ出向き、本物を見て、実際に触れたり感じたり、出会った人と関わったりすることで理解を深め、問題解決に必要な生きた知識を習得することができ、高等部学校設定教科「観光」への素地を養うことができると考える。また、個々が習得した知識をベースとし学習を進めることで、自分で調べたことを伝えたいという意欲が高まったり、話し合い活動において友達や教師の意見を理解できたりすることにつながり、周囲の人と関わりながら協力する姿を引き出すことができるのではないかと考える。

仙北市を調べる学習を繰り返し、郷土の魅力について知り、総合的な学習の時間やせんぼくいきいきプロジェクトと関連性をもって学習を進めることで、周囲の人から認められ、学習に対しての手応えや、地域を身近に感じ、地域への所属感を高めることができるのではないかと考え本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・積極的に話し合いを行うことができるように進め方の手順にを一定にし、話し合いの目的、目標（話し合いのゴール）、ルールを明確化する。
- ・情報活用能力を高めることができるように、iPadのデフォルトアプリを活用し、検索やカメラ機能、メモ機能を活用し、基本的な使用方法について確認しながら進める。
- ・見通しがもちやすいように、①事前に調べる、②現地で調べる、③まとめるの流れで学習を進める。
- ・校外学習を振り返り、自分の意見を話すことができるように、タブレット端末の写真やボイスメモ、メモの機能を使用し、校外学習での様子を記録し活用する。
- ・学習内容や、ワークシートの使い方、既習した内容の想起、意見の共有など等、効果的に伝えることができるように、電子黒板を活用する。
- ・学習した内容の理解を深め、校内に向けて学習した内容を発信し達成感を感じることができるように、年間を通して、教室前の廊下に学習した内容を掲示する。
- ・個別最適な学びをすることができるように、話し合いの日時、議題、内容を事前に提示し、ICTを活用し、家庭で予習ができるようにする。

4 指導計画（総時数18時間）

小単元名	主な目標		主な活動内容
仙北市の田沢湖地区について調べよう（3時間）	知・技	・田沢湖地区の歴史や地理的な立地等、地域の概略について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖地区の歴史、地理的な立地の説明を聞いたり、文献を見たりする。 ・検索するキーワードを教師や友達と考え、検索エンジンで田沢湖地区のホームページを見付ける。 ・電子黒板やタブレット端末、ワークシートを活用し、調べた内容を発表する。
	思判表	・名産品、特産品、名所について友達と協力し、タブレット端末を使って調べる。	
	学・人	・調べた内容を友達に分かりやすく伝える。	
田沢湖地区へレッツゴー（5時間） ・仙岩峠の茶屋 ・乳頭温泉郷	知・技	・仙北市田沢湖地区の名所、名産品、特産品を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・仙北市の名所や名産品、特産品を見たり、味わったりする。 ・各店舗で特産品、名産品などを購入する。 ・iPadのメモ機能、ボイス機能、写真機能やワークシート等を使い、調べた内容を記録する。
	思判表	・友達と協力しながら、乳頭温泉、仙岩峠の茶屋について調べる。	
	学・人	・従業員の方に、疑問点や気になったことを自ら質問する。	
田沢湖地区をまとめよう（10時間） ・仙北市マップ作り ・おでん作り 本時1 / 10	知・技	・ICT機器を効果的に使い、発表や話し合いをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を活用し、自分の意見を発表する。 ・iPadに記録したデータやワークシートを使って友達と話し合いをする。 ・仙北市マップに掲示する内容のレイアウトを考える。 ・レシピを見ながら、材料を切ったり、煮たりしておでんを作る。
	思判表	・友達と相談しながらおでん作りの計画をしたり、仙北市マップに掲載する内容を決めたりする。	
	学・人	・友達とやり取りしながら乳頭温泉郷や仙岩峠の茶屋についてまとめたり、おでんを作ったりする。	

5 本時の計画（18時間中の9時）

(1) 本時の目標

- ・友達と協力して仙北市マップへの掲載内容を決めたり、発表をしたりする。

(2) 生徒の目標と実態

氏名・年 (性別、グループ)	本時に関わる生徒の実態	本時の目標	手立て
A 1年 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・提示されたものから好きなものを選び、自分なりの理由を話すことができる。 ・文字を書いたり、読んだりすることに時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるような話し方で意見を伝えたり、質問をしたりする。 ・自分の役割や発表のやり方を覚え、友達と発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは〇〇だと思います。理由は〇〇だからです。」などの話形を提示する。 ・グループの役割分担を固定し、事前に発表練習を行う。
B 1年 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることには、考えをもつことができるが自分から意見を伝える場面は少ない。 ・何度も経験していることは自分で考えて行動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師に自分の意見を話す。 ・発表での進行の役割を理解して、友達と発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の様子を、iPadを使って常に振り返ることができるようにする。 ・ペアの友達の話聞くように促したり、話し合いの流れについて提示したりする。
C 1年 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題であれば、教師と会話することができる。経験していないことをイメージするのは難しい。 ・指示を待っていることが多いが、繰り返し経験することで行動できるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの候補から掲示したいものを選んで選ぶことができる。 ・教師の原稿やiPadのメモ機能を活用して、まとめた意見を理解し、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査時の写真を提示しながら、実際に体験して感じたことや家族の感想などについて問いかける。 ・意見はホワイトボードに整理しながら話し合いを進める。まとめた意見は発表に向かう前にiPadのメモと発表原稿を見て再確認する。
D 2年 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあることは自分から話すことができるが、質問に答えるのに時間を要することが多い。 ・友達の様子を気にして、困っているときは手伝うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査時の写真を見たり、友達の話の聞いたりして、掲載内容を選ぶ。 ・友達と協力して発表原稿を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容を見たり聞いたりした中から、知っていること、興味をもったことを中心に掲載内容を選ぶように伝える。 ・他のグループにどんな写真や理由を伝えたらよいか問いかけ、相談しながらメモを作る。
E 2年 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや知っていることについては自分の意見を伝えることができる。 ・繰り返し行っている活動では周りの状況を見て行動できるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を付けて、自分の意見を話す。 ・ボイス機能を活用し、職員へインタビューしたものを話し合いに生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは〇〇だと思います。理由は〇〇だからです。」という話形を提示し、〇〇に入る部分を教師と一緒に確認する。 ・ボイス機能活用の仕方を写真カードで提示する。
F 2年 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢から好きなものを選ぶことができる。自分なりの理由はあるが、うまく伝えられなかったり、違う意見を受け入れられなかったりする。 ・自分の役割には進んで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだもの、友達の選んだものについて、気に入ったことや伝えたいことを話す。 ・友達の発表に合わせて、電子黒板に写真を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査前に行ったインタビューを思い出し、掲載内容を選ぶ材料とすることを伝える。 ・話し合いでは1番に指名し、自分の意見を言えるようにする。 ・原稿の順番にメモ機能に写真と理由を入力しておく。
G 2年 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢から選んだり、好きなものを話したりするが、理由を付けて話すことは難しい。 ・原稿を読んで発表ができるが、様々なツールを使って分かりやすく発表するのは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を付けて自分の意見を話す。 ・ワークシート等の資料を使いながら友達と一緒に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「僕は～を掲示したいです。理由は～です。」などワークシートを使って、意見を考えるように促す。 ・発表での役割分担をあらかじめ決めておいたり、発表の流れを資料に書き込んだりする。

(3) 展開

時間	学習活動	指導の手立て及び留意点						
10分	1 本時の学習内容とめあての確認	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容が分かり意欲をもって取り組むことができるように、単元名「大好きなまち、仙北市！」を生徒がホワイトボードへ記入する場面を設ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈めあて〉友達と協力して乳頭温泉郷の掲載内容を決めよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 掲載内容を決める基準を思い出すことができるように、質問をして全体で確認する。（掲載基準：身近な人に、行ってほしい、知ってほしい） めあてを意識できるように、一部を穴埋めにして質問をする。 乳頭温泉郷への校外学習を思い出すことができるように、写真や動画で振り返る。 						
30分	2 仙北市マップへ掲載する内容を決める ①話合う グループ編成 A：B、G B：A、E C：D、F、C ②発表する ③多数決で内容を決定する	<ul style="list-style-type: none"> 仙北市マップに掲載する内容に沿って話し合いができるように、マップに掲載する内容の候補を3つに絞って提示する。（掲載内容決定までの流れ：マップに掲載する内容の候補から各グループで2つ選ぶ→理由を付けて発表する→多数決で決める） 活発に話し合い活動ができるように、話し合いのルールを確認する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">Aグループ (T1)</th> <th style="width: 33%;">Bグループ (T2)</th> <th style="width: 33%;">Cグループ (T3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> スムーズに話し合いができるように、話し合いの進行表を提示する。 乳頭温泉郷について伝える相手を具体的に想像できるように、「中学部の友達」「せんぼく校の先生」「自分の家族」と設定する。 カメラ機能でワークシートを見やすく撮ることができるように、影に気を付けるように声を掛ける。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの進め方が分かるように、手順表を準備する。 理由を付けて、自分の意見を伝えられるように穴埋め式の話形を提示する。 職員にインタビューした意見について、ボイス機能を活用して掲載内容を決める際の参考にする。 自分たちの意見の他にボイス機能を使って、掲載内容を決めた理由を説明する。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ルールに沿って話し合いができるように、教師が進行役となり、それぞれの意見を整理する。 まとめた意見を理解できるように、協力してメモ機能に写真と選んだ理由を書き込み、グループで確認する。 分かりやすく伝えるためにCが原稿を読み、それに合わせてFが画像を提示する。 </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 発表を注意深く聞くことができるように、発表後にグループ内で決めた内容について変更できることを伝える。 掲載理由を全員で共有することができるように、各グループで掲載内容を選んだ理由について電子黒板に書き出し、確認する。 	Aグループ (T1)	Bグループ (T2)	Cグループ (T3)	<ul style="list-style-type: none"> スムーズに話し合いができるように、話し合いの進行表を提示する。 乳頭温泉郷について伝える相手を具体的に想像できるように、「中学部の友達」「せんぼく校の先生」「自分の家族」と設定する。 カメラ機能でワークシートを見やすく撮ることができるように、影に気を付けるように声を掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの進め方が分かるように、手順表を準備する。 理由を付けて、自分の意見を伝えられるように穴埋め式の話形を提示する。 職員にインタビューした意見について、ボイス機能を活用して掲載内容を決める際の参考にする。 自分たちの意見の他にボイス機能を使って、掲載内容を決めた理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールに沿って話し合いができるように、教師が進行役となり、それぞれの意見を整理する。 まとめた意見を理解できるように、協力してメモ機能に写真と選んだ理由を書き込み、グループで確認する。 分かりやすく伝えるためにCが原稿を読み、それに合わせてFが画像を提示する。
Aグループ (T1)	Bグループ (T2)	Cグループ (T3)						
<ul style="list-style-type: none"> スムーズに話し合いができるように、話し合いの進行表を提示する。 乳頭温泉郷について伝える相手を具体的に想像できるように、「中学部の友達」「せんぼく校の先生」「自分の家族」と設定する。 カメラ機能でワークシートを見やすく撮ることができるように、影に気を付けるように声を掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの進め方が分かるように、手順表を準備する。 理由を付けて、自分の意見を伝えられるように穴埋め式の話形を提示する。 職員にインタビューした意見について、ボイス機能を活用して掲載内容を決める際の参考にする。 自分たちの意見の他にボイス機能を使って、掲載内容を決めた理由を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールに沿って話し合いができるように、教師が進行役となり、それぞれの意見を整理する。 まとめた意見を理解できるように、協力してメモ機能に写真と選んだ理由を書き込み、グループで確認する。 分かりやすく伝えるためにCが原稿を読み、それに合わせてFが画像を提示する。 						
10分	4 まとめをする	<ul style="list-style-type: none"> これからの学習に対して期待感をもって終わることができるように、決まったことを確認したり、仙北市マップへの掲示物作りをすることを伝えたりする。 						

(4) 評価の観点

- 生徒・自分の意見を言ったり、友達の意見を受け入れたりしながら、話し合いをしたり、協力して発表したりすることができたか。
- 教師・校外学習を振り返り、スムーズな話し合い活動や意見を共有する場面の手立ては適切だったか。

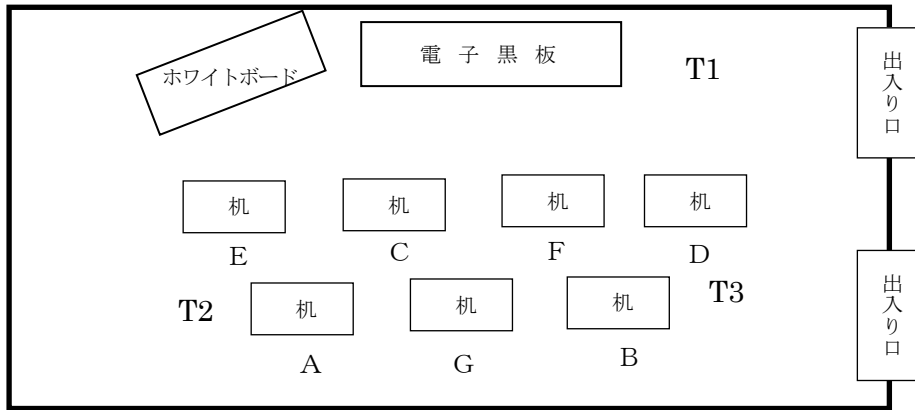
(5) 準備物

ワークシート、iPad、電子黒板

(6) 配置図

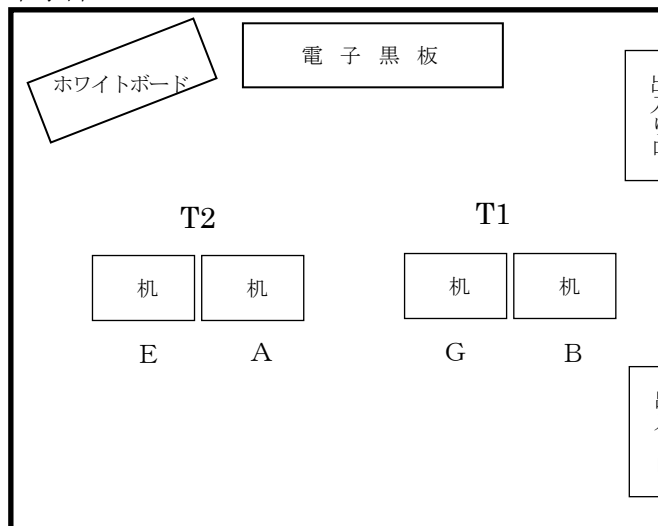
学習活動1、2（話し合いの内容を伝える部分）、4

中学部1

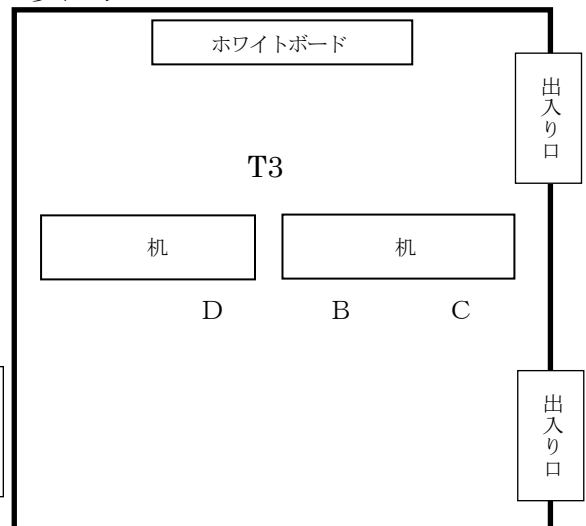


学習活動2（話し合いの部分）、3

中学部1



多目的室2



(7) 板書計画（移動式ホワイトボード）

大好きなまち、仙北市！！

めあて
友達と協力して乳頭温泉郷の掲載内容を決めよう。

学習活動

① 話し合い	議題 乳頭温泉郷の掲載内容について 日時 9月30日（木） 3校時 内容 ①黒たまご ②温泉の効能 ③ブナ林
② 発表 11:00~	
③ まとめ	

まとめ
掲載内容は ~~~~~、~~~~~、~~~~~、に決定。
友達、先生、家族に見てもらおう！